

～留学生の目から見た大阪(1)～

このコーナーでは、OFIX奨学生のOBであるジョン・エドワード・リベイロさんに大阪での学生生活で感じたことなどをシリーズで紹介していただきます。リベイロさんは平成17年度OFIX奨学生で、この3月に大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期課程を修了しました。この春からは同大学院の博士後期課程に進学し、日々勉学に励んでいます。

「留学生から見た大阪」の初回執筆ということで、自己紹介並びに留学生生活における進捗状況について記事を書かせていただきます。大阪大学大学院国際公共政策研究(OSIPP)の博士後期課程1年のジョン・リベイロと申します。ニューヨーク州立大学出身、2004年にOSIPPの研究生として来阪、その一年後、財団法人大阪府国際交流財団の奨学金を受領すると共にOSIPPの博士前期課程に入学しました。前期課程においては、国際私法、国際取引法及び国際金融法を研究しながら、「インターカレッジ・ネゴシエーション・コンペティション」、「東アジア地域連携フォーラム」及び「日本法の透明化プロジェクト」といった研究プロジェクトに積極的に参加することができ、非常に充実した2年間を過ごすことができました。このようなアクティブな学生生活を送ることができたのは正にOFIXの寛大なご支援の御陰であると考えております。

では、博士後期課程に入り、自分の研究生活とOFIXで学ばせていただいた国際理解と友好親善を深める理念とが、どのように関係しているのかを説明させていただきます。先日、上海にて東アジア地域連携フォーラム(FEAL)の第3回大会及びFEALの次世代部会であるアジアの未来を創る会(亜未会)に、報告者として参加しました。FEALというのは、「地域間の相違を尊重しつつ調和を目指すことを原則に、地域と地域、人と人を結ぶことによって未来につなげるための人的ネットワークを形成する仕組み」というものです。FEALの機会を通じて、日中韓の先生方及び学生が総合的な視点から東アジア地域の社会や制度を研究することによって、2つの点で国際交流活動を促進し、国際親善に寄与していると考えられます。まず、FEALは非官僚的なものなので、政府間には見られない迅速かつ長続きする人的ネットワーク作りが可能であり、それは国家関係の善し悪しに左右されることがないので、民間的なレベルで友好親善を図ることができると考えられます。次に、FEALの世代部会である亜未会による国際交流ができれば、日中韓の大学や大学院の優秀な学生は環境問題、エネルギー問題、金融問題、経済問題などといった将来のアジアがぶつかる共通問題を一緒に考え、お互いの意見を把握することができれば、その学生が将来のアジアにおいてリーダーシップを発揮する立場になるときに、積み重ねた対話によって地域間の相違を尊重しつつ調和を図ることが期待できると考えられます。

「こんなことは大阪とどう関係してるんだろう」と思われている方はいるでしょう。来年のFEAL第4回大会は大阪での開催を予定しており、外国人を歓迎し、ホスピタリティが溢れている大阪、国際化への高い関心を持っている大阪、このような私から見た大阪を、中国及び韓国の学生と先生方にアピールしていきたいと考えております。今度の大会において「世界に開かれた国際都市大阪」は、交流の場として最適な場所であると考えられるので、対話がスムーズにでき、次世代である私たちを支えてくれることを期待しております。次号ではこの大阪の国際性について考えていただきたいと思います。



OFIX奨学生定例会報告

去る5月16日、OFIX奨学金奨学生の定例会を行いました。定例会は奨学生のみなさんに、大阪のことを知ってもらうために定期的に行っています。

今回は平成19年度に新しくOFIX奨学生に選ばれた3名の方が(財)大阪府国際交流財団と大阪府国際室を表敬訪問した後、大阪市中央区にある「NHK大阪放送局BKプラザ」を見学しました。

BKプラザはNHK大阪放送局の1階にあり、公開放送を行う「プラザスタジオ」、過去の番組を閲覧できる「BKライブラリー」、アナウンサーやお天気キャスターなどが体験できる「なりきりスタジオ」やデジタル放送を紹介するコーナーなどがあり、興味深く見学しました。



「なりきりスタジオ」では、奨学生たちは係りの方の説明を受けながら、英語や中国語でニュースを読む体験をしました。実際に擬似スタジオに座ってみることで、いつも見ているニュースがどのように作られているかを知ることができ、とても有意義な経験になりました。

大阪放送局の9階には、実際の番組の収録風景が見られる「スタジオビジョン」やスタジオのセットを身近に見られる「触れて学べるスタジオ模擬セット」、過去の番組を6,000本あまり取り揃えて公開している「NHKアーカイブス大阪」など、他にも盛りだくさんのコーナーがあります。

普段、なにげなく見ているテレビ番組がどのように製作されているのか、どのような歴史をたどってきたのか、また将来どのように技術が進んでいくのか、理解を深めることができました。

このような機会を通じて、奨学生の方たちが、大阪のいろいろな側面を見て、何かを感じてもらえればと思います。